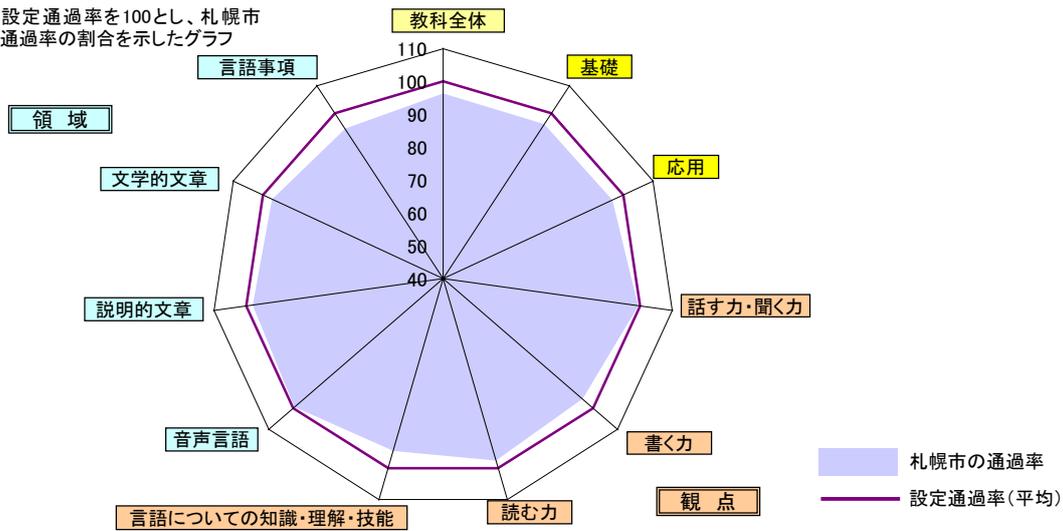


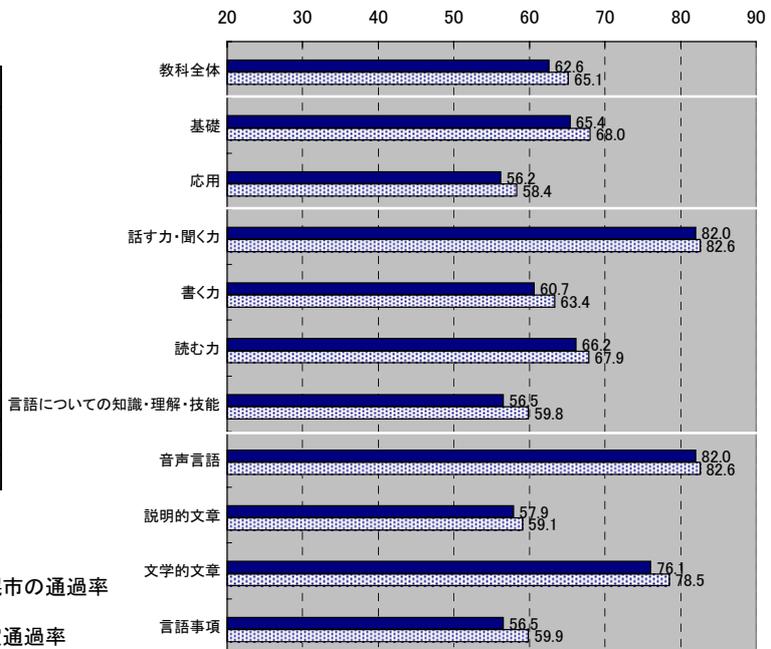
■ 通過率と設定通過率との比較 (設定通過率を100とした場合)

※ 設定通過率を100とし、札幌市の通過率の割合を示したグラフ



■ 通過率と設定通過率との比較

	項目	札幌市の通過率(平均)	設定通過率(平均)
教科全体	教科全体	62.6	65.1
	基礎	65.4	68.0
	応用	56.2	58.4
観点	話す力・聞く力	82.0	82.6
	書く力	60.7	63.4
	読む力	66.2	67.9
	言語についての知識・理解・技能	56.5	59.8
領域	音声言語	82.0	82.6
	説明的文章	57.9	59.1
	文学的文章	76.1	78.5
	言語事項	56.5	59.9



【通過率】

- ・国語における札幌市の通過率は、観点、領域別等、全体として、設定通過率と有意(±3ポイント)に差がないものが多く、ほぼ同程度である。
- ・教科全体で見ると、通過率に有意な差は見られないが、設定通過率が65.1%であるのに対して、札幌市の通過率は62.6%であり、2.5ポイント下回っている。
- ・基礎と応用で見ると、「基礎」が2.6ポイント、「応用」が2.2ポイント、設定通過率をやや下回っている。
- ・観点別に見ると、「言語についての知識・理解・技能」が3.3ポイント有意に下回っているが、それ以外は同程度となっている。
- ・領域別に見ると、「言語事項」が3.4ポイント有意に下回っているが、それ以外は同程度となっている。
- ・観点では「言語についての知識・理解・技能」、領域では「言語事項」において、札幌市の通過率と設定通過率との有意差が見られ、教科全体の通過率を下げる傾向が見られることから、特に、指導の充実を図ることが必要である。